

令和2年(2020年)3月31日

令和元年度第3回ひらつかリトアニア交流推進実行委員会(書面会議)会議報告書

令和元年度第3回実行委員会は書面での議決とし、令和2年3月27日必着で書面決議書をご提出いただきました。

その結果について下記のとおりご報告いたします。

記

1 実行委員会の議決があったものとみなされる日

令和2年3月27日

2 実行委員会議決結果

議 題

(1) 令和元年度補正予算(案)

(2) 令和2年度ひらつかリトアニア交流推進実行委員会事業計画(案)

(3) 令和2年度ひらつかリトアニア交流推進実行委員会予算(案)

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック大会チケット

(5) 地域再生計画「東京オリンピック・パラリンピックホストタウンを通じた「にぎわい」創出プロジェクト」の事業評価について(平成31年度分)

結 果

すべての議題について、過半数の賛成をもって可決されました。

3 特記事項

- ・議題(2)(3)については、東京2020大会開催延期に伴う事業計画の見直しを実施し、実行委員会へ再度ご提案いたします。
- ・議題(4)については、東京2020組織委員会から方針が示され次第、今回いただいたご意見も踏まえ整理し、実行委員会へ再度ご提案いたします。

主な意見

- ・議題(2)(3)について、東京2020大会開催延期に伴い、修正を前提とすること。
- ・議題(4)について、対象者をリトアニア共和国との交流やオリンピック・パラリンピックの気運醸成に尽力された方や若い世代の方としては。

以 上

ひらつかリトアニア交流推進実行委員会事務局
平塚市 オリンピック・パラリンピック推進課

地域再生計画「東京オリンピック・パラリンピックホストタウンを通じた『にぎわい』創出プロジェクト」の事業評価（平成31年度分） 提案内容

【数値目標（地域再生計画本文より）】

事業	リトアニア共和国との交流推進事業	年月
KPI	ホストタウン交流計画に基づき展開する事業により増加する交流人口（累計）	
申請時	-	H30.1
初年度	1,700人	H31.3
2年目	3,500人	H32.3
3年目	6,000人	H33.3

【2018年度（平成30年度）の実績報告】

初年度の目標値1,700人に対し、実績値は6,445人とする。

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業として展開する3つの事業の参加者数は、

- ・スポーツ交流事業 6,592人
- ・文化交流事業 6,445人
- ・経済交流事業 1,200人
- 合計 14,237人であった。

2018年度（平成30年度）末のひらつかリトアニア交流推進実行委員会の会議（2019年3月29日開催）による事業評価において、「当初の計画数値目標に対して、参加者の実績値がかけ離れすぎると計画の甘さが際立ってしまう。」「経済交流事業の参加者数は、リトアニア国内で実施した事業（オリンピック・デー）であるため、平塚市を訪れた人数（入込観光客数）ではない。」等の意見が出た。

その結果、2018年度（平成30年度）の目標値(KPI)に対する実績値は、文化交流事業の参加者数6,445人とする（広く市内外からの交流人口の増加に寄与した事業を実績とする）ことが、実行委員会の評価の結論となった。

【2019年度（平成31年度）の実績報告（案）】

事業の実施内容は、別紙「<平成31年度実施>まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に記載。

<案> 2年目の目標値3,500人に対し、実績値は12,087人とする。

別紙のとおり、2019年度（平成31年度）に展開した3つの事業の参加者数は、

- ・スポーツ交流事業 23,000人
- ・文化交流事業 4,465人
- ・経済交流事業 1,177人
- 合計 28,642人であった。

2018年度（平成30年度）の評価において、「広く市内外からの交流人口の増加に寄与した事業を実績とする」ことを結論づけたことから、2019年度（平成31年度）は文化交流事業と経済交流事業の参加者数の合計5,642人を交流人口とし、計画2年目の実績値としては、12,087人（累計のため、1年目の交流人口との合計）といたしたい。

【まとめ（案）】

年度	KPI（人）		まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に対する寄附の実績
	目標値	実績値	
初年度 2018年度（平成30年度）	1,700	6,445	100,000円（1社：非公開）
2年目 2019年度（平成31年度）	3,500	12,087	100,000円（1社：非公開）